

に謝意を捧げる。

マネキグモ、オホヒメグモ、アカムネグモ一種、シモングモ *Simonius typicus* Kishida, コガネグモ、ナガコガネグモ、コガタコガネグモ、ヤマシロオニグモ、サツマノミダマシ、ゴミグモ、ヨツデゴミグモ、シロオビトリノフンダマシ、アシナガグモ、ウロコアシナガグモ、シログネグモ、ハシリグモ *Dolomedes raptor* Boesenberg et Strand, 1903, ヒノマルドクグモ、クサグモ、シロアヅチグモ、ハナグモ、ヤミイロカニグモ、ハヘトリグモ、イソハヘトリ、デーニツツハヘトリ、チヤスヂハヘトリ、ミスヂハヘトリ、マミジロハヘトリ、ハヘトリグモ一種、アシダカグモ

シモングモとハシリグモは下田より未採集のものである。前者は実験所の一般實驗室に置かれた標本戸棚を清掃した際計らずも採取したので、之により下田の蜘蛛相にイウレイグモ科 Pholcidae を加へ得たのは愉快である。8月(は)1日だけ居たがコガネグモとナガコガネグモは引續き目に着いた。以上の蜘蛛は植村本會幹事が御多忙のところ枉げて鑑識の勞をとつて下さつたものである。御蔭で下田の蜘蛛は20科123種になつた。

私が本誌創刊號に寄せた「下田の蟄蟲雜記」中に「下田の海濱の岩窟内(脚下に海波爬ひ寄るが如き個所にも)に多き蟄蟲は岸田氏の『富士の動物』に見ゆるヒトハリザトウムシ *Gagrella japonica* Roewer, 1910 なるが如く」と記したが其の後鈴木正將氏に鑑定して頂いたら矢張りヒトハリザトウムシであつた。尙本誌第2卷第3號に出て居る井上巖氏の「三重縣答志島の蜘蛛二三」中の菅島(の)海濱の巖壁に密集して居るザトウムシの1種といふのもヒトハリザトウムシであることを鈴木氏が證明して下さつた。本種は東海道沿岸地方では最も海濱性の蟄蟲と云ひ得るであらう。(高島春雄)

早 春 の 蜘蛛 (多摩川附近)

一昨年三月十二日快晴温暖の半日を二子玉川附近にて採集したが、その日の採集品は下の30種である。

ハグモ科 ネコハグモ **ヒメグモ科** オホヒメグモ、カレハヒメグモ **コガネグモ科** オニグモ、ナカムラオニグモ、コガネグモダマシ、アシナガグモ、トガリアシナガグモ、コガネグモ(幼)、ゴミグモ、(ヒメアシナガグモ一種、オニグモ一種) **サラグモ科** セスヂアカムネグモ **ドクグモ科** ドクグモ一種 **タナグモ科** シモフリタナグモ **カニグモ科** ハナグモ、ヤミイロカニグモ、ヤブエビグモ、タンゴカニグモ **フクログモ科** ハマキフクログモ、フクログモ(コマチグモ一種(幼)、ヂガバチグモ一種) **ハヘトリグモ科** ネコハヘトリ、ヨシイハヘトリ、マミジロハヘトリ、アカアリグモ、アヲオ

ビハヘトリ。ワカバネコハヘトリ (*Eophrys aninotatus* Boesenberg et Strand) シボグモ科 シボグモ

この日石の下で採集中ヤミイロカニグモがヨツボシテントウムシダマシ (*Ancylopus melanocephalus* Olivie) を捕へてゐるのを目撃した。

同月九年三月十九日九子多摩川附近にては次の如き11種類を得た。

ヒメグモ科 オホヒメグモ ドクグモ科 ウヅキドクグモ タナグモ科 (イホグモ一種 亜成體) カニグモ科 ヨシイヘハヘトリ ネコハヘトリ, タンゴカニグモ, コカニグモ, キハダエビグモ フクログモ科 ハマキフクログモ, (コマチグモ一種 (幼)) ワシグモ科 メキリグモ

以上の種類は植村利夫氏が査定して下さつたもので茲に記して厚く御禮申上げる。

(町田徳治)

東 亞 蜘蛛 關 係 文 獻 目 録

第12輯 (1940年度第3回及び1941年度第1回)

30 萱 島 泉—南大東島北大東島産蜘蛛目録—臺灣博物學會會報 30—203 : 344—346, 1圖

柳原政之氏が1939年の2—3月に採集された蜘蛛標品を9科14種に査定した。大東島蜘蛛相に關する最初の報告と想ふ。

31 加 藤 正 世—八丈島に於ける採集品目録—昆蟲界 8—80 : 690—730 pp. 728—730 に同島で獲た蜘蛛10種の目録を掲げてある。

32 佐 藤 井 岐 雄—鯉—四不像 3 : 17—19

支那の古書を漁ると蜘蛛を喜びのものとして居るが本朝では惡者扱ひされて居ることが多い。和漢の色々な出典から例證してある隨筆。四不像は東京考古堂から月刊の博物隨筆冊子。

33 佐 藤 井 岐 雄—蛛形類の細胞研究の業績とその研究方法—博物學會誌 [廣島文理大學廣島高等師範學校博物學會] 8 : 23—27

34 石 川 重 治 郎—郷土研究資料—高知教育 691 : 16—20

高知縣幡多郡清水港から足摺岬一帯に亘り蟹・蜘蛛其の他海産動物を採集調査した報告。蜘蛛は八木沼健夫氏が鑑定された。

35 植 村 利 夫—仲秋の石神井の生物—昆蟲界 8—82 : 850—855